

# PlateSpin Forge 11.3 解決済みの問題

2018 年 4 月



PlateSpin Forge 11.3 では、以前に既知の問題であった、またはお客様およびパートナーによって報告されている PlateSpin Forge 11.2 のさまざまなソフトウェアの欠陥を解決します。

## 1 解決済みの既知の問題

このセクションでは、このリリースで解決されている以前の既知の問題について説明します。「[解決済みの問題リスト](#)」も参照してください。

### 1.1 Windows ダイナミックディスク : Npart エラーコード 28 メッセージ = デバイス <名前> に十分な空き領域がありません ( デバイスに空き領域が残っていません )

**問題:** ソース Windows ワークロードは、シンプルダイナミックボリュームまたはスパニングされたダイナミックボリュームを有しています。Windows ダイナミックディスクのメンバーパーティションは MBR として初期化されていますが、総ボリュームサイズが 2 TB を超えています。MBR パーティショニングを用いたシンプルベーシックボリュームディスクとして、ターゲットワークロード上にボリュームを作成すると、ディスクエラーが発生します。(バグ 1046179)

**修正:** メンバーパーティションが MBR として初期化されるシンプルダイナミックボリュームまたはスパニングされたダイナミックボリュームでは、パーティションの合計サイズが 2 TB の MBR パーティションサイズ制限を超えた場合、ターゲットシンプルベーシックボリュームディスクが GPT として初期化されます。

### 1.2 少なくとも 1 つのスワップパーティションを再作成する必要がある

**問題:** Linux ワークロードの場合、SAN 内でスワップ領域がホストされているときに、pvscan エラーのため、標準スワップファイルまたは LVM スワップファイルが、スワップファイルとして検出された後に認識されません。検出とフェールオーバーに影響がある場合があります。(バグ 967241 および 1025310)

**修正:** SAN でホストされているスワップデバイスは、検出とフェールオーバーによって認識されません。

### 1.3 FACC 内の Forge 管理 VM の IP アドレスを変更しているときに設定が予想より長くかかる

**問題:** アプライアンスを物理的に移動する手順として Forge アプライアンス設定コンソール (FACC) を使用して Forge 管理 VM の IP アドレスを変更するときに、設定プロセスが予想より長くかかりタイムアウトになります。(バグ 1043438)

**修正:** Forge アプライアンスで、要求される単一コンテナライセンスではなく、複数コンテナライセンスを使用している場合、設定がタイムアウトになる可能性があります。Forge VM について正しく単一のコンテナライセンスが付与されていることを確認してから、再試行してください。『PlateSpin Forge ユーザガイド』の「[アプライアンスの物理的な移動](#)」を参照してください。

## 1.4 バージョン 11.2 へのアップグレード後のクラスタとノードの DNS 解決に失敗すると、Windows クラスタのワークロードレプリケーションも失敗する

**問題:** バージョン 11.2 では、Windows クラスタのサポート方法が変わったため、PlateSpin Forge でクラスタとノードの IP アドレスの前方向検索および後方向検索を実行するには、完全な DNS 解決が必要になります。(バグ 947072)

**修正:** PlateSpin Forge Server で、クラスタとクラスタノードの IP アドレスの DNS 前方向検索および DNS 後方向検索を解決できることを確認してください。DNS サーバをアップデートするか、Forge VM 上のローカル hosts ファイル (%systemroot%\system32\drivers\etc\hosts) をアップデートできます。

## 1.5 SMTP、電子メール通知、およびレプリケーションレポートの設定がアップグレード中に保持されない

**問題:** 以前は 11.2 へのアップグレード後は、電子メール通知とレポートが使用できませんでした。これらの機能の設定は、アップグレード中にリセットされました。(バグ 947597)

**修正:** PlateSpin g は SMTP 設定、電子メール通知設定、およびレプリケーションレポートを遵守するようになりました。

## 1.6 中国語のデフォルトのクラスタ IP アドレス名が間違っている

**問題:** 以前は、簡体字中国語および繁体字中国語では、PlateSpin 環境設定ページのデフォルトクラスタ IP アドレス名が Windows クラスタのデフォルト名と一致していませんでした。PlateSpin Server はクラスタワークロードを検出できなかったため、ワークロードの追加アクションは失敗しました。(バグ 945124)

**修正:** 簡体字中国語および繁体字中国語のデフォルトのクラスタ IP アドレス名が Windows クラスタのデフォルト名と一致するようになりました。

## 1.7 同期の準備で使用可能な VM のリストに PlateSpin Forge 管理 VM が表示されるべきでない

**問題:** [同期の準備] アクションで使用可能な VM のリストに、Forge 管理 VM が含まれていました。(バグ 945847)

**修正:** サーバ同期契約を追加するときにユーザが誤って選択しないように、Web インタフェースから PlateSpin Forge 管理 VM が除外されるようになりました。

## 1.8 VMware 5.5 または 6.0 に対する Windows ワークロードの保護により、VMware Tools のインストール時にクリティカルではないエラーが表示される

**問題:** VMware 5.5 または 6.0 に対して Windows Server 2008 R2 ワークロードを保護する際に、[VMware Tools のインストール] が有効になっていると、ツールのインストール時にクリティカルではないエラーが発生します。ただし、VMware Tools は正常にインストールされます。(バグ 992705)

**修正:** VMware Tools は、エラーなしに正常に Windows Server 2008 R2 ワークロードにインストールされるようになりました。

## 1.9 競合状態のため、ソース再起動時にコントローラがハングする

**問題:** Web インタフェースを使用してワークロードとターゲットを検出する際に、警告メッセージが表示されて、検出に失敗することがあります。(バグ 978308、975092、946132)

**修正:** タイミングの問題によって生じる検出の失敗を回避するため、OFX コントローラで 15 秒 (15000 ミリ秒) のデフォルトのハートビート起動遅延が設定されるようになりました。これは、ソースワークロード上に HeartbeatStartupDelayInMS レジストリキーを追加して設定できます。このレジストリキーはデフォルトでは設定されていません。『*PlateSpin Forge ユーザガイド*』の「[OFX コントローラのハートビート起動遅延の変更](#)」を参照してください。

## 1.10 Windows Server 2003 ソースサーバがハングする問題

**問題:** 以前、Windows Sever 2003 ワークロードが検出中にハングする場合があります。(バグ 951595)

**修正:** Windows Server 2003 ワークロードの検出でハングしなくなりました。

## 1.11 2.2 TB より大きい GPT パーティションでは、Windows の ESXi 6 への変換のために検証が削除される必要がある

**問題:** ESXi 6.0 を使用する VM コンテナ上のターゲットワークロードについて、2.2 TB より大きい GPT パーティションを持つワークロードでエラーが発生しました。(バグ 935511)

**修正:** このリリースでは、VMware ESXi および vCenter 5.5 以降のサポートされているバージョンを使用する VM コンテナ上のターゲットワークロードについて、2.2 TB より大きい GTP パーティションを持つワークロードをサポートするようになりました。

## 1.12 最初の完全レプリケーションが PrepOSToBoot で失敗する

**問題:** レプリケーション中のメモリ不足状態により、VMware 6.0 コンテナ上における RHEL 6.7 ワークロードの最初の完全レプリケーションが失敗します。(バグ 988814、980995、970315)

**修正:** PlateSpin の環境設定で、TakeControlMemorySizeInMB パラメータのデフォルト値が 512 MB から 768 MB に増加しました。『*PlateSpin Forge 11.3 リリースノート*』の「[制御メモリサイズの取得](#)」を参照してください。

## 1.13 完全レプリケーションで SQL Server の差分バックアップが失敗する

**問題:** Microsoft SQL Server を実行する 2012 ワークロードの完全レプリケーションを実行した後は、Microsoft ツールを使用してもう一度完全バックアップを実行しないと、SQL Server の差分バックアップが失敗します。この問題は、レプリケーション時に Microsoft VSS Writer for SQL Server (SqlServerWriter) が実行されている場合に発生することがあります。(バグ 983567)

**修正:** SqlServerWriter に関するこの問題は解決済みです。SQL Server の差分バックアップが失敗することはありません。

---

**注:** ベストプラクティスとして、Windows ワークロードレプリケーションに対して Microsoft Volume Shadow Copy Service (VSS) スナップショットが作成される短期間に、バックアップが実行されないようにします。このプラクティスは、ウィルス対策ソフトウェアや SQL バックアップなど、VSS を使用してスナップショットを作成するすべてのソフトウェアに適用されます。

---

## 1.14 パス /mnt/target/{id}/System Volume Information/{guid}{guid} へのアクセスが拒否される

**問題:** 不正アクセス例外により、レプリケーションが失敗します。(バグ 965606)

**修正:** Forge は例外をキャッチして処理できるようになりました。

## 1.15 ソースワークロードがゲートウェイ、プロキシ、またはリモートアクセスサーバである場合にコントローラの接続を確立できない

**問題:** レプリケーション時に、ソースワークロードがゲートウェイ、プロキシ、またはリモートアクセスサーバである場合、コントローラはそのワークロードとの接続を確立できませんでした。IP インタフェースをクリアし、レプリケーションプロセスの接続を許可するため、ソースワークロード上で Windows のルーティングとリモートアクセスサービスの再起動が必要でした。(バグ 966024 および 951535)

**修正:** レプリケーション時に、Windows のルーティングとリモートアクセスサービスの再起動を必要としないで、コントローラはゲートウェイ、プロキシ、またはリモートアクセスサーバとして機能するソースワークロードに接続できるようになりました。

## 1.16 NAT 環境にあるソースとのデータコピー時にレプリケーションが進行しない

**問題:** NAT 環境のソースワークロードはその NAT パブリック IP アドレスを使用して追加されましたが、ワークロードの NIC はプライベート IP アドレスにのみマップされました。レプリケーション時に、その NAT パブリック IP アドレスはソースオペレーティングシステムには不明でした。(バグ 970430 および 961985)

**修正:** ソースワークロードが NAT 環境にある場合は、レプリケーションのためにソースマシンに接続する際に、NAT IP ピニングシナリオで最初に試すアドレスとして、ソースワークロードの NAT パブリック IP アドレスを使用するようにターゲットワークロードを設定できます。

## 1.17 パッチのインストール後に、新しいワークロードのレプリケーションで VM の再設定が失敗する

**問題:** ターゲットワークロードに対して 2.2 TB より大きい GPT パーティションを持つワークロードについて、中間パッチが一部のインスタンスで失敗します。(バグ 953696)

**修正:** 予期したとおりに GPT パーティションが機能するようになりました。

## 1.18 Prepare for Sync が、ターゲット VM のソケットとコアの設定を間違えて変更する

**問題:** ある条件下で、Prepare for Sync は、ターゲット VM に設定されている CPU の合計数を遵守していましたが、ターゲット VM 上のコアとソケットの設定を間違えて変更しました。ソケットあたりのコア数が 1 に設定され、ソケット数が CPU の合計数に設定されました。(バグ 949765)

**修正:** Prepare for Sync はターゲット VM 上のコアとソケット設定を遵守します。

## 1.19 拡張パーティションを持つディスクで、それ以降の完全レプリケーションが失敗する

**問題:** バージョン 11.2 にアップグレードした後で、ワークロードに論理ドライブを持つ拡張パーティションがあるため、ファイルベースレプリケーションとしてその後に実行される完全レプリケーションが失敗しました。アップグレード後の最初の完全レプリケーションと増分レプリケーションは影響を受けませんでした。これは新しいコントラクトでは発生しませんでした。(バグ 948855)

**修正:** ファイルベースレプリケーションとしてその後に実行される完全レプリケーションは、論理ドライブを持つ拡張パーティションのあるワークロードに対しても、予期したとおりに機能するようになりました。

## 1.20 クラスタの大文字と小文字の区別：クラスタノード名で大文字と小文字が混在する場合、レプリケーションが検証エラーで失敗する

**問題:** クラスタノード名には大文字と小文字の区別があり、大文字と小文字が混在した名前はサポートされていませんでした。(SR 10975270421)

**修正:** このリリースでは、大文字と小文字が混在するクラスタノード名が許可されるようになりました。すべてのノード名で大文字と小文字が区別されません。

## 1.21 [Configuration Service Not Started (設定サービスが開始していません)] エラーが発生してフェールオーバーが停止する

**問題:** フェールオーバージョブ中に、ターゲット VM をブートできません。フェールオーバープロセスがサービスの設定段階で停止し、[Configuration Service Not Started (設定サービスが開始していません)] エラーが発生します。(バグ 994314、991089、991068、988132、987156、986629、984153、982362)

**修正:** ほとんどのワークロードでは、フェールオーバージョブは予期したとおりに実行されます。エラーが発生する場合は、『*PlateSpin Forge ユーザガイド*』の「[設定サービスのトラブルシューティング](#)」を参照してください。

## 1.22 VMware vCDROM がロックされたというメッセージでフェールオーバーがハングする

**問題:** VMware コンテナ上のターゲット Linux ワークロードについて、データコピーが完了し、環境設定サービスが開始された後で、vCDROM ロックが適切に解除されなかったため、カットオーバーがハングします。(バグ 988839、975853)

**修正:** Linux に VMware Tools をインストールした後で、vCDROM ロック適切に解除されるようになりました。

## 1.23 テストフェールオーバー後にターゲット VM の D ドライブがオフラインである

**問題:** Windows Server クラスターワークロードについて、フェールオーバーまたはテストフェールオーバー後にハードドライブが正常にオンラインにならなかった可能性があるため、ドライブを手動でオンラインにする必要がありました。(バグ 956559)

**修正:** フェールオーバーまたはテストフェールオーバー後に、ハードドライブが自動的にオンラインになります。

## 1.24 ソースとターゲットのブートモードが異なる (UEFI または BIOS) 場合、物理環境へのフェールバックに失敗する

**問題:** 以前は、物理ターゲットワークロードが BIOS ブートモードを使用している場合、UEFI ブートモードを使用するソースワークロードで **【保存してフェールバック】** オプションを開始すると、フェールバックが失敗しました。この問題は、ソースとターゲットのブートモードの不一致が原因で発生しました。(バグ 949579)

**修正:** フェールバックバリデータは、ブートモードがソースとターゲットのワークロードで一致しないという状態を許可します。

## 1.25 複数の NIC が搭載された物理ターゲットでフェールバック時に DNS 設定が記憶されない

**問題:** 以前は、複数の NIC が搭載されたワークロードの場合、DNS 設定はフェールバック中に自動的に設定されませんでした。(バグ 945090)

**修正:** 複数の NIC が搭載された物理ターゲットへのフェールバックに対して DNS 設定が記憶されます。

# 2 解決済みの問題リスト

このセクションでは、コンポーネント別に編成されたすべての解決済みの問題をリストします。修正により複数の関連する問題を解決した場合は、複数の欠陥がリスト表示されます。アスタリスク(\*)の付いた解決済みの問題については、[解決済みの既知の問題](#)にある関連するトピックを参照してください。

[数値]	コンポーネント	説明
1043438*	環境設定	FACC 内の Forge 管理 VM の IP アドレスを変更しているときに設定が予想より長くなる
1009594	環境設定	ボリュームグループの後に LVM 論理ボリュームを表示するように環境設定ページを再編成する
1001626	環境設定	[テスト資格情報] オプションでは、シングルクリックのみが必要
1000552	環境設定	ネットワークアダプタ設定では、ラベル、再構築、およびツールヒントの説明が必要
1000529	環境設定	レプリケーションで許可されるネットワーク設定にはツールヒントが必要
995736	環境設定	MTU 設定はレプリケーションネットワーク設定でのみ使用可能である必要がある
994535	環境設定	サイズが 2 TB を超えるディスクボリュームを GPT パーティションに変換するためには警告メッセージが必要
976324	環境設定	環境設定では、ターゲットである VMware 5.5 以降のコンテナ上で、VM に対して 2 TB より大きい GPT データディスクが許可される必要がある
969981	環境設定	Linux 環境設定では、変換された論理ボリュームを後続のボリュームグループに移動する
949871	環境設定	増分レプリケーションコントラクトの保護環境設定または再保護では、コア数およびソケットあたりのコア数を含む、CPU 値を表示する必要がある
949319	環境設定	Windows Server クラスタでは、ユーザがクラスタ保護について前提条件を満たすことなく保護を行う場合に警告 / 情報が表示される
1025310* 967241	Discovery ( 検出 )	少なくとも 1 つのスワップパーティションを再作成する必要がある
1043622	検出	サポートされていないワークロードとして OEL 5.2 64 ビットソースワークロードが検出される
1019864	検出	Linux ワークロードの検出またはリフレッシュが予期せぬエラーで失敗する
1017773	検出	OS で RAM サイズが MB ではなくバイトで報告される場合、ワークロード検出が失敗する
1009647	検出	Linux ワークロード検出で間違った RAM 容量が報告される
1005530	検出	[NIC] 一部の ESXi バージョンでは、e1000e NIC を持つ Linux VM のワークロード検出が失敗する
999700	Discovery ( 検出 )	[Windows Server 2003 R2] ワークロード検出のプロパティが正しく表示されない
997795	検出	vCenter 検出が検証前エラー [No datastores have been found on target container ( ターゲットコンテナにデータストアが見つかりませんでした )] で失敗する

[数値]	コンポーネント	説明
996158	検出	ターゲット VMware コンテナのターゲット検出が初期化エラーで失敗する
992090	検出	Windows サービスの起動モードが不明な場合、ワークロードの検出が失敗する
968104 968331	検出	定義されている PNP デバイス ID にディスクが一致しない場合、検出が失敗する (ローカルであると見なす必要がある)
977157	検出	ターゲット VMware ホストの再検出が予期されるように機能していない
96590	検出	[HP ProLiant DL360e Gen8] OS またはパーティションがすでに存在する場合は検出が失敗する
949579*	フェールバック	ソースとターゲットのブートモードが異なる (UEFI または IOS) 場合、物理環境へのフェールバックに失敗する
945090*	フェールバック	複数の NIC が搭載された物理ターゲットでフェールバック時に DNS 設定が記憶されない
989304	フェールバック	OS をブートするためにターゲットマシンを準備しているときに V2P フェールバックが失敗する
1062146	フェールオーバー	フェールオーバー VM が静的 IP ではなく 169.xxx.xxx.xxx IP アドレスを取得する
1009559	フェールオーバー	複数のディスクが搭載された Linux UEFI ワークロードがフェールオーバー後にエラーモードでブートする
994314* 991089 991068 988132 987156 986629 984153 982362	フェールオーバー	[Configuration Service Not Started (設定サービスが開始していません)] エラーが発生してフェールオーバーが停止する  『PlateSpin Forge ユーザガイド』の「設定サービスのトラブルシューティング」も参照してください。
989752	フェールオーバー	フェールオーバーと同様にレプリケーション中に停止するように選択された同じデーモンが、フェールオーバーが完了するまでは停止するようにトリガされていないように思われる
988839* 975853	フェールオーバー	VMware vCDROM がロックされたというメッセージが VIC に表示されて、フェールオーバーがハングして、ユーザの操作が求められる
958199	フェールオーバー	ターゲット VM がリカバリモードでブートした
956559*	フェールオーバー	テストフェールオーバー後にターゲット VM の D ドライブがオフラインである
1004658	PlateSpin Server	ScheduledJobDebug エントリが多すぎるためサーバが低速になる
1015010	PlateSpin Server	Linux ワークロードで preferredVMwareNicAdapter の VMXNET3 の値が機能しておらず、E1000 NIC が作成される



[数値]	コンポーネント	説明
1007072	PlateSpin Server	ブート時の LRD ISO ビルド番号が正しくない
999265	PlateSpin Server	PlateSpin 環境設定で ForceMachineDiscoveryFileTransport を True に設定しても、検出ジョブで有効にならない
995231	PlateSpin Server	[インストール] サイレントインストールでは、install.log ファイルにプレーンテキストでパスワードが公開される
994543	PlateSpin Server	VMware 役割作成時の警告メッセージ: Privileges Are Missing in the Platespin Role Tool (権限が Platespin Role Tool にありません)
987117	PlateSpin Server	[インストール] Microsoft .NET Framework 4.5.2 Developer Pack を事前にインストールしないとインストールが失敗する
977947	PlateSpin Server	ドメインユーザログインを使用して、PlateSpin Server Localhost URL にログインできない
977170	PlateSpin Server	PlateSpin データベースに追加された Windows Server 2012 ドライバが OS タイプ Windows 8x64 として表示される
947597*	PlateSpin Server	[アップグレード] SMTP、電子メール通知、およびレプリケーションレポートの設定がアップグレード中に保持されない
946124*	PlateSpin Server	PlateSpin 環境設定ツールの中国語のデフォルトクラスタ IP アドレス名が間違っている
838050	PlateSpin Server	[インストール] SQL Server 2014 がホストにすでにインストールされている場合は <b>[Install SQL Server Express (SQL Server Express のインストール)]</b> ボタンは無効になっている必要がある
1046179*	複製	Windows ダイナミックディスク: Npart エラーコード 28 メッセージ= デバイス <名前> に十分な空き領域がありません (デバイスに空き領域が残っていません)
1077280	複製	選択した VMware リソースプールでフェールオーバー VM が作成されなかった
1043372	複製	VMware 6.5 のサポートで最大 VMware 仮想ハードウェアのバージョンが 11 から 13 に増加した
1038965	複製	複数の事前コンパイルされた blkwatch ドライバが同じカーネルバージョンと一致する場合、適切な OS に一致する
1001507	複製	大規模な NSS プールの複製が遅いかタイムアウトし、NSS プールが複製中に空きブロックをスキップしない
SR 10975270421*	複製	クラスタの大文字と小文字の区別: クラスタノード名で大文字と小文字が混在する場合、レプリケーションが検証エラーで失敗する
1026601	複製	P2V ファイルベースレプリケーションの後でディスク環境設定が無効になる

[数値]	コンポーネント	説明
1020045	複製	予期したターゲット ESXi サーバが使用可能でない場合、パーティションの作成が失敗する
1010284	複製	Windows 保護がボリュームの作成およびパーティショニング時に [Argument Cannot Be Null ( 引数を null にすることはできません )] エラーで失敗する
1007461 1008115	複製	VMware 5.1 コンテナでの LVM 物理ボリュームの作成が失敗する ( 古い pvscan コマンドを使用する必要がある )
1004228	複製	4 つ以上のパーティションを単一ディスクにマッピングする際に、ソースワークロードに対する X2P 保護が失敗する
1003636	複製	[Windows Server 2008 R2] 予期したボリュームが使用可能でない場合、暗号化を指定するブロックベース転送を使用したレプリケーションが失敗する
1001287	複製	[OES11 SP2] ターゲットデバイスで MBR ディスクに十分な空き領域がない場合に NSS の作成に失敗する
997711 1002854 997653	複製	ディスクを並べ替える場合に Linux の増分レプリケーションが失敗する
997353	複製	ディスクボリュームが 2.2 TB を超える場合は、ターゲット上で GPT に変換する必要がある
995667	複製	仮想マシンをスナップショットに戻す場合に後続の増分レプリケーションが [Unable to connect to VMware Virtual Infrastructure Web Services (VMware Virtual Infrastructure Web サービスに接続できません)] エラーで停止する
989650	複製	[Windows Server 2012 R2 クラスタノード] TakeControlMemorySizeinMB が不十分な場合、OS のブート準備中にワークロードの完全レプリケーションが NullReferenceException エラーで失敗する
988814* 980995 970315	複製	最初の完全レプリケーションが PrepOSToBoot で失敗する
983567*	複製	完全レプリケーションで SQL Server の差分バックアップが失敗する
975033	複製	ターゲット VMware コンテナに対する Linux UEFI ワークロードレプリケーションが失敗する
970430* 961985	複製	NAT 環境にあるソースとのデータコピー時にレプリケーションが進行しない
969647	複製	暗号化を使用した Linux ワークロードレプリケーションがファイルのコピーステップ時に失敗する
968929	複製	[Windows Server 2012 R2] Windows ブートマネージャの GUID をデフォルト値から変更した場合、最初の完全レプリケーションでターゲットマシンによる OS の起動準備が失敗する

[数値]	コンポーネント	説明
966024* 951535	複製	ソースワークロードがゲートウェイ、プロキシ、またはリモートアクセスサーバである場合にコントローラの接続を確立できない
965606*	複製	パス /mnt/target/{id}/System Volume Information/{guid1}{guid2} へのアクセスが拒否される
963926 988471	複製	予期したブートローダまたはディスクが使用可能でない場合、レプリケーションが送受信段階で失敗する
953696*	複製	パッチインストール後、新しいワークロードレプリケーションが VM の再設定時に [Required property cannot be found. Property value: TakeControlSockets ( 必要なプロパティが見つかりません。プロパティ値 : TakeControlSockets)] エラーで失敗する
949765*	複製	Prepare for Sync が、ターゲット VM のソケットとコアの設定を間違えて変更する
948855*	複製	拡張パーティションを持つディスクで、それ以降の完全レプリケーションが失敗する
947072*	複製	バージョン 11.2 へのアップグレード後のクラスタとノードの DNS 解決に失敗すると、Windows クラスタのワークロードレプリケーションも失敗する
940380	複製	カタログ ( 変更されたブロック ) ファイルの破損を原因とする圧縮解凍エラーが発生したことにより、増分レプリケーションが失敗した
1017241 1017266	Web インタフェース	診断レポートが HTML 出力の生成に失敗する
1017186	Web インタフェース	[ネットワーク環境設定] セクションの検証エラーにより、クラスタワークロードのサーバ同期操作を実行できない
1016689	Web インタフェース	ターゲットデータストアの空き領域がソースワークロードのディスクサイズよりも小さくなる場合に、レプリケーションと次の状態が失敗する
1012870	Web インタフェース	環境設定ページの検証エラーにより、クラスタワークロードを設定できない
1004065	Web インタフェース	(繁体字中国語ロケール) [TCP/IP WINS サーバ] ダイアログでの WINS サーバラベルの折り返しの問題
1003005	Web インタフェース	(英語以外のロケール) Linux ワークロードの [Web Interface Configuration (Web インタフェース環境設定)] ページに翻訳されていないテキストが表示される
1001844	Web インタフェース	クラスタノードに Prerequisites (PowerShell 2.0) がインストールされていない場合に警告メッセージが必要である
995724	Web インタフェース	以前にターゲットに対してスローされたエラーまたは例外は、新しいターゲットの選択後に表示されてはならない
992280	Web インタフェース	[通知] SMTP アラートについて、[Receive Progress Notifications Interval Time (進捗状況通知を受信する間隔)] メニューが適切に表示されない

[数値]	コンポーネント	説明
980595	Web インタフェース	ライセンス削除の確認で、モジュールとアクティベーションコードを表示する必要がある
980588	Web インタフェース	[設定] > [ライセンス] : アクティベーションコードのリストをソートする必要がある
980023	Web インタフェース	ダッシュボード : 保護されていないリンクが「保護されていない」ワークロードリストではなく、「環境設定されていない」ワークロードリストに移動する
973920	Web インタフェース	[増分レプリケーションの準備] ページに、ターゲット VM の選択に役立つソースワークロード名が表示される必要がある
972438	Web インタフェース	[通知] SMTP 電子メール通知に平均転送速度統計が表示されてはならない
971847	Web インタフェース	ユーザ名の名前の前後に余分なスペースがある場合、ワークロードを追加するための資格情報テストが失敗する
970701	Web インタフェース	ターゲットを指定しないで [環境設定] を複数回クリックすると、エラーメッセージが複数回表示される。ターゲットが指定されるまで環境設定は無効にする必要がある
970763	Web インタフェース	中止アクションには確認が必要
968811	Web インタフェース	ターゲットワークロードがドメインに参加できない場合、警告が表示される必要がある
949847*	Web インタフェース	同期の準備で使用可能な VM のリストに PlateSpin Forge 管理 VM が表示されるべきでない
942304	Web インタフェース	直接的な増分レプリケーションのステータスメッセージが「増分を実行しています」ではなく、「最初のレプリケーションを実行中」である
935518	Web インタフェース	[Add Target ( ターゲットの追加 )] には [テスト資格情報] オプションが必要
1026728 1025719	ワークロード	ソースディスクサイズがターゲットに一致しない場合、X2P Raw ディスクボリュームがディスク環境設定エラーを引き起こす
1020058	ワークロード	[ネットワーク設定を制御] における DHCP の問題
1019228 990860 977426 969456 969376	ワークロード	予期した出力フロッピーがマウントされていない場合、ターゲットの Linux VM セットアップがオペレーティングシステムの設定に失敗する
1018475	ワークロード	計算されたバッファ領域が BCD オブジェクトには不十分な場合、ターゲットの Linux VM セットアップが OS の起動準備に失敗する
1017302	ワークロード	パーティションが正しく設定されていない場合、ターゲットの Linux VM セットアップが失敗する (GPT または拡張パーティションを持つ MBR が必要)

[数値]	コンポーネント	説明
1009597	ワークロード	Linux ワークロードをコピーできない、ソース制御時にソースワークロードとの通信が失われる
992705*	ワークロード	VMware 5.5 または 6.0 に対する Windows ワークロードの保護により、VMware Tools のインストール時にクリティカルではないエラーが表示される
989887	ワークロード	[Force Install VM Tools Configuration Value (VM ツール環境設定値の強制インストール)] を True に設定すると、ターゲット VM にパッケージがコピーされるがインストールされない
989455 992937	ワークロード	LVM パーティショニング操作時に、Linux ワークロードのフェールバックがエラーで失敗する
986571	ワークロード	ターゲット VM セットアップ中に VSS スナップショットの作成が失敗した
982571	ワークロード	[Windows Server 2012 R2] ターゲットマシンの設定時に回復可能なエラーで保護が停止する
978308* 975092 946132	ワークロード	競合状態のため、ソース再起動時にコントローラがハングする
974709	ワークロード	オペレーティングシステムの環境設定時に、ターゲット Linux VM セットアップで回復可能なエラーが発生する
974066	ワークロード	[Windows Server 2012 Exchange Server] ターゲット VM の設定にかかる時間が 7 時間を超える
951595*	ワークロード	ソースサーバがハングする問題
935511* 951418	ワークロード	2.2 TB より大きい GPT パーティションでは、Windows の ESXi 6 へのレプリケーションのための検証が削除される必要がある

### 3 Micro Focus への問い合わせ

弊社の目標は、お客様のニーズを満たすマニュアルの提供です。マニュアルを改善するためのご提案がございましたら、本マニュアルの HTML 版で、各ページの下にある [\[comment on this topic\]](#) をクリックしてください。 [Documentation-Feedback@microfocus.com](mailto:Documentation-Feedback@microfocus.com) 宛てに電子メールを送信することもできます。

特定の製品の問題については <https://www.microfocus.com/support-and-services/> にある、Micro Focus サポートに連絡してください。

追加のテクニカル情報またはアドバイスについては、次の複数のソースを参照してください。

- ◆ 製品ドキュメント、ナレッジベース記事およびビデオ : <https://www.microfocus.com/support-and-services/>
- ◆ Micro Focus コミュニティページ : <https://www.microfocus.com/communities/>

## 4 保証と著作権

保証と著作権、商標、免責事項、保証、輸出およびその他の使用制限、米国政府の規制による権利、特許ポリシー、および FIPS コンプライアンスの詳細については、<https://www.microfocus.com/about/legal/> を参照してください。

**Copyright © 2018 NetIQ Corporation, a Micro Focus company. All rights reserved.**

### ライセンスの許諾

PlateSpin Forge 11 以降のバージョン用に購入したライセンスを Platespin Forge 3.3 以前のバージョン用に使用することはできません。